



させぼ夢大学

発行●公益社団法人 させぼ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
<https://www.yumedai.com/>
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.350 〈2025・8〉

令和7年度
第5回

2025年8月20日(水)
アルカスSASEBO 大ホール

開 場 17:30
夢のひろば 18:00
講 演 18:30(終了20:00)

第5回講演会の講師は、講談師の神田紅さんをお迎えします。出囃子が博多どんたくの神田さん！ もちろん、福岡市出身です。

神田さんは、無医村の医者になろうと医学部を目指しますが、大学浪人中に演劇に目覚めます。早稲田大学商学部に入學すると、すぐに学生演劇に入部。文学座付属演劇研究所を経て、市原悦子の付き人などを経験し、俳優の道へ進みました。

ところが、1979年、二代目神田山陽と出逢い、講談の魅力にとりつかれ、入門。「紅」を名乗ります。

1986年、二つ目に昇進し、3年後には、真打に昇進。2002年に、弟子の陽司・紅葉を伴い、紅一門を旗揚げ。2010年には、日本講談協会の会長に就任しました。



「明るく楽しく解りやすい」を芸風に講談活動を続け、2017年には芸歴40年を迎えました。

また、神田さんは、「神田紅 女の独り立ち」「紅流 女講談師として生きて」などの著書や、新聞・雑誌の連載など、エッセイストとしてもご活躍です。その源には、元科学技術庁参与や日本宇宙フォーラム理事の職歴、そして、講談師やエッセイストをはじめ、俳優・映画評論家・レポーターなどの職業など、豊かな経験とパワーあふれるチャレンジ精神が、神田さんの世界を拓いているのではないのでしょうか。

会場いっぱい、神田さんの笑いの芸が！

どうぞご期待ください。

講 師 ● 講談師 かんだ くれない 神田 紅氏

テーマ・大声と笑いで生きる明日への活力



次回のご案内

- と き／9月17日(水) 18:30～20:00
- 講 師／政治ジャーナリスト あおやま かずひろ 青山 和弘氏
- テーマ／テレビでは話せない政治の舞台裏

●1968年、千葉県生まれ。青山学院大学客員研究員。元日本テレビ政治部次長兼解説委員。日本テレビ「news every.」のレギュラー解説の経験あり。

2021年9月に独立し、政治ジャーナリストとして活動。これまで、羽田政権から石破政権まで、16の政権を取材。与野党を問わない幅広い人脈と、わかりやすい解説に定評がある。

8月の講演会は第3水曜日です。

神田 紅 氏のプロフィール

●福岡市出身。修猷館高等学校卒業。早稲田大学商学部中退後、文学座付属演劇研究所を経て女優の道を歩き始めるが、講談師・二代目神田山陽と出逢い、弟子入り。

平成元年、真打昇進後、講談の普及のため講談教室「紅塾」で東京・福岡合わせて100余名の生徒を熱心に指導している。平成13年～現在、全日空機内寄席のパースナリティー放送中。



末永いご支援・ご協力を

公益社団法人させば夢大学

理事長 古賀 良一

残暑お見舞い申し上げます。

本日に、毎日毎日危険な猛暑日が続いておりますが、皆様お変わりなくお元気にお過ごしのことと思います。

日頃より、させば夢大学会員の皆様には、陰に日向に何かとご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げる次第です。

さて、今回感想文の募集がない分、紙面が空くことになり、「理事長挨拶文」を掲載することになり、先日の講演会の冒頭挨拶の中で、いろいろ心配事を愚痴っておりましたが、この機会をよいチャンスにとらえ、アルカスSASEBO大ホール休館のことなど、詳しく説明させていただくことといたします。今後どうあるべきかのご意見・お知恵をいただきたく、ご一読いただければ幸いです。

振り返れば、平成4年6月、佐世保ならではの文化づくりを進めるために、自ら学び、考え、行う生涯学習の場として、佐世保市の支援を受け、開講。平成31年度（令和元年度）28期までは、皆様の温かいご支援・ご協力、ボランティアスタッフの尽力により、順調に歩みを進めてまいりました。

ところが、令和2年度の29期に入り、コロナ感染症の大流行により、状況が大きく様変わりしました。1・2年の収束と考え、昼夜2回の講演でどうにか乗り切り、安堵していましたが、令和3年度より会員減少が始まり、歯止めがかからず、現在もその状況が続いています。その原因は、コロナ禍は当然ですが、バスの便数減少による帰宅への支障、併せて会員の高齢化が進む中、開催日はどうか、昼間開催はできないか、次世代に向けて講師の選定に問題はなかったか、若返りのための講師選定をどう

するか、就業中の若い方々は会員増につながらないのではないか等、そんな試行錯誤の中、アルカスSASEBO大改修の情報。令和8年9月より令和10年3月まで休館とのこと。ハウステンボス他、収容人員等について、市内の会場の検討を進めましたが、適当な場所はない。市当局、また市議会からも、ぜひ継続をとの温かいご支援もあり、佐世保市体育文化館の大会体育室でという話もありますが、会場づくりはどうするか、会場までのアクセスはどうか、会場費用が大幅にアップするが大丈夫か、果たして会員の皆様にご来場いただけるのかと、心配事ばかりです。

とりあえず、本誌掲載のとおり、令和8年度は、4月から8月までの5か月間において、土曜・日曜・祝日に8回の講演会を開催する予定であり、現在講師選定の段階です。令和8年度は、今後のさせば夢大学を続けるか否かの大きな判断の年になり、まずは、会員2000名を目指し、お一人お一人のご入学をお願いするものです。

いつも申し上げておりますように、世界のリーダーたちの考え方・進め方も様々で、驚くばかり。日本でも同様、自己中心、党中心。国の行く末、国民の暮らしを考える人が、どのくらいいるのか……。悲しいばかりです。

冒頭で申し上げました、させば夢大学発足の頃も、昭和から平成へと変わる頃、家庭内暴力、学校での集団非行、暴力事件等々、荒れた時代でした。現代の令和の時代も、よく似た考えられないような様々な事件や事故の頻発。

こういう時代だからこそ、講師の好き嫌いは別として、様々なジャンルの講師の話聴き、自分自身の何が正しくて、何が間違っているのか、正しい判断力を身に付けることが必要と考えます。そのためにも、生涯学習の場として、させば夢大学をご活用いただくとともに、次世代に向けての末永いお力添えをお願いし、挨拶いたします。

令和8年度 講演会予定日（講師は未定です）

回	期 日	講演会時間
第1回	令和8年 4月 4日(土)	14:30 { 16:00
第2回	// 4月 29日(水・祝)	
第3回	// 5月 9日(土)	
第4回	// 5月 24日(日)	
第5回	// 6月 20日(土)	
第6回	// 7月 11日(土)	
第7回	// 8月 8日(土)	
第8回	// 8月 29日(土)	

①令和8年度は、アルカスSASEBO大ホールが使用できる8月末日までの5か月間に、講演会を8回開催する予定です。9月以降はお休みです。

②「帰りは暗いので、遅くならないようにしてほしい」「夜はバス等の便が少ないので、早く終わってほしい」という要望を考慮し、土曜・日曜・祝日の昼の開催としました。

③講演会の前に、「夢のひろば」も実施する予定です。

- ・夢のひろば（1回目は、開講式）
14:00～14:20（2回目以降）
- ・講演会
14:30～16:00（8回とも）

夢のひろば

◆日時／8月20日(水) 午後6時～6時20分

◆演目／ソプラノ独唱&ピアノ

◆出演／富永珠未、江口友規子

◆出演者紹介

富永珠未 (ソプラノ)

国立音楽大学卒業、歌曲ソリストコース修了。二期会オペラ研修所第58期マスタークラス修了。修了時に、優秀賞受賞。第17回大阪国際コンクールリサイタル部門第3位。二期会会員。現在は、地元合唱団やグループの活動と併せ、ソロでも精力的に活動中。

江口友規子 (ピアノ)

国際コンクールのピアニストとして、国内外の演奏家との共演や、スクールコンサートなどの音楽活動、合唱団の指導、伴奏者を務めている。近年は、音楽と食・健康をテーマにしたコンサートを提案している。

◆曲目

1. 歌劇「ラ・ボエーム」より、「私が街を歩くと」／G.Puccini 作曲
2. 浜辺の歌／成田為三作曲
3. 歌劇「蝶々夫人」より、「ある晴れた日に」／G.Puccini 作曲
4. 映画「マイフェアレディ」より、「踊り明かそう」／Frederick Loewe 作曲



7月 夢のひろば J・バーカーズ「サイモン&ガーファンクルの歌」

講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

- ◎400字程度を目安に、Eメール・FAX・郵送のいずれかにて、させば夢大学事務局までお送りください。三行程度の短いものでも結構です。
- ◎締め切りは**8月25日(月)必着**です。
- ◎せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上、掲載されない場合や一部省略させていただくこともありますので、ご了承ください。

E-mail : sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

F A X : 0956-25-9545

郵送先 : 〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F

令和7年度 第34期 受講生アンケートの集計結果

4月16日(水)の第1回講演会の折に、受講生の皆様にはアンケートのご協力をいただきましたが、その集計結果をお知らせします。

921人(回収率74.8%)の皆様によるデータです。多くの方々からご回答いただき、誠にありがとうございました。今後のさせば夢大学の運営の参考にさせていただきます。

① アルカスSASEBOまでの主な交通手段 (1人につき1つ回答)

車	バス	徒歩	汽車	タクシー	未回答	回答者
573	164	105	55	21	3	921

単位:人

※「車」は、運転者だけでなく、同乗者も含みます。

② 令和7年度の受講生募集を知った方法 (複数回答)

単位:人

新聞チラシ	広報させば	ならでわ	コミセンチラシ	TV佐世保	ウェルズチラシ	法人向けチラシ	紹介
575	323	184	90	52	35	24	9

※「コミセンチラシ」とは、各地区コミュニティセンターに置かせていただいたチラシのことで、新聞折込チラシと同じものです。「ウェルズチラシ」「法人向けチラシ」は、事務局で作成したチラシです。

③ 年間の講演会回数 (1人につき1つ回答)

単位:人

12回	10回	8回	6回	5回	その他	回答者
5	669	148	79	1	19	921

④ 講師としてよんでほしい方ベスト10

敬称略

位	講師名
1	さだまさし
2	林 修
3	前川 清
4	武田鉄矢
5	栗山英樹
6	橋下 徹
6	池上 彰
8	竹田恒泰
9	福山雅治
10	原 晋

⑤ 受講生の意見

○日時・曜日・時間について

- ・木曜日がよかった
- ・水曜日がよい
- ・土・日の昼間開催がよい (若い人も来れるよう)
- ・始まる時間を早めたら
- ・終了時刻を早めに (バス等で) (夢のひろばをなくしたら)
- ・夜ばかりの開催がよい
- ・講演時間は、もう少し短くてよい
- ・8月・12月は開催なしでよい

○講師について

- ・佐世保近くの講師でもよい
- ・話の上手な講師を呼んで
- ・若い人の興味がある講師を
- ・芸能の講師を増やす
- ・知的な講師がよい
- ・マンネリ化、魅力ある講師・施策を
- ・よい講師であれば、高くても来る
- ・講師への質問型の参加形式へ

○感謝・応援について

- ・今後も楽しみ、続けてほしい
- ・ありがとうございます
- ・講演・開講式よかった

- ・頑張ってください
- ・佐世保の講師は、福岡と遜色ない
- ・1回2000円は安い

○回数について

- ・回数を減らす。(よい講師を招くため)
- ・回数を減らし、受講料も安く

○要望・提案について

- ・会費が2万円となると、戸惑う
- ・その都度参加にしたら
- ・広告募集し、スポンサー収入を
- ・WEB (オンライン) 会員を作っては
- ・ステージの花はなくてよい 等

佐世保 人物事典

15

- ②⑨ 豊島 政治 とよしま せいじ
- ③⑩ 松添 宝一 まつぞえ ほういち

佐世保史談会 名誉会長 なかしま まさすみ
中島 眞澄

②⑨ 豊島 政治

(一八五二〜一九一九)
三川内焼中興の祖

嘉永四年(一八五二)、彼杵郡折尾瀬村(現佐世保市三川内町)で出生。明治七年(一八七四)、叔父の窯業関係の仕事を引き継ぎ、同一八年、三川内山で焼物専門店を開業。製造から販売まで手がける事業を始め、東京・横浜方面まで販路を拡張した。

明治二十七年(一八九四)、「陶磁器製造組合」を設立。同三三年、広く後継者の育成を図り、三川内の窯業の新たな風を呼び込むために、「三川内陶磁器意匠伝習所」を創立した。所長として、夏には東京美術学校や有田工業学校から教授を招聘し、若者たちの技術の向上を図ったが、三川内焼は平戸藩御用窯から民間窯へ転落。その衰亡は、著しいものがあつた。

③⑩ 松添 宝一

(一八五五〜一九三〇)
歯科医師

安政二年(一八五五)、肥前大村(現大村市)で大村藩医の父宝泉の子として誕生。松添家は代々口中科(こうちゅうか 現在の歯科)の藩医を務めてきた。

明治二年(一八六九)二月、父から家督を相続し、同九年、長崎県の口中科医術開業免許状を得て、同二八年秋、



豊島 政治

この危機を救うには、まず伝統の技術を若者に伝え、後進を養成すること。さらに新しい意匠や技術を取り入れ、新時代に合った製品を造ることだと思い、力を注いだ。また、三川内郵便局を誘致して初代局長になり、やがて村会を経て、東彼杵郡郡会議員として地方の行政にも尽くした。

大正六年(一九一七)に伝習所は閉じるが、豊島の精神は皿山に残ることになった。三川内皿山には、豊島の功績を讃え、その顕彰碑が建立されている。

佐世保で歯科医院を開業した。医院は、高砂町・浜田町を経て、明治三五年、松浦町に移転開業した。その後、自宅で診療する傍ら、海軍病院や海軍工廠職工共済会病院(現佐世保共済病院)の嘱託医をしていた。

白簪拔牙法は名高かった。この技法は剣術の気合、居合から出たもので、歯頭を白簪で押さえ、十分に力を入れて前方に引き、一呼吸の操作で抜歯を終わるものであった。その力を練習するために板に釘を打ち込み、指頭で抜き取ることを研究した。

二女静子に、大村の朝長兵衛の四男信四郎を養子に迎え相続させた。その後も信四郎が引き続き、歯科医を開業している。

家柄が元藩医で士分であったので格式が高く、受診者もおのずと限定されていた。海軍の、特に将官級の患者が多かった。こうしたことから佐世保市の政財界人との交流があった。

(敬称略)



松添 宝一

事務局だより

★追加募集のご協力に、心から感謝申し上げます。

講演会のたびに、受講生の皆様にお配りしている「追加募集」のお知らせ。

皆様のおかげで、第1回講演会以降、25人ほどの追加募集がありました。皆様のご協力に、心から感謝いたします。

追加募集については、第5回講演会まで文書をお配りし、9月の第6回講演会からの入会を最後にする予定です。

定員の2000人には、まだ余裕がありますので、残り2か月の募集期間においても、皆様の変わらぬご協力をよろしく願います。

★J・パーカーズの演奏で、青春時代が蘇ってきました。

「16歳の頃から、サイモン&ガーファンクルにはまって、50年歌い続けています。」と話すボーカルとギター担当の山浦さん。

ハモリとともに、数種類の民族楽器を巧みに演奏する中野さん。

セントラル・パークにいるかのような、今回の「夢のひろば」の舞台。J・パーカーズの演奏に興奮し、感動しました。ご出演、ありがとうございます。

★9月17日(水)の講演会の講師を変更します！

「石平氏、参院選出馬！」6月末、突如入ってきた、このニュース。

7月20日の参議院選挙に出馬されるということで、やむなく講師の変更をすることになりました。

新しい講師は、政治ジャーナリストの青山和弘氏。元日本テレビの政治部次長兼解説委員であり、政治解説でお馴染みの方です。

今後、参議院選挙の議席予測や、日米の関税交渉等の解説で、テレビを通して、数多くお見受けすることと思います。9月17日(水)の講演会、どうぞお楽しみに！

★「開演前に座って待てるように、大階段から並ぶようにしていただませんか。」

このような要望を、講演会日に早く来られた方から、お聞きすることがあります。

現在、開演前の整列のスタートを、大ホールの大階段下からとしています。それは、大階段を並ぶ場所とすると、将棋倒しのような危険が生じやすいと考えるからです。その分、開場時刻を少し早め、早く入場できるようにしています。

このようなことから、講演会日の整列の仕方について、ご理解くださいますようお願いいたします。